●受託研究（民間）

組勘（クミカン）データを見える化する経営管理ツール

平成２１～２２年（２年間）

十勝農業試験場

共同（協力）機関　　十勝管内畑作経営研究会

Abstract 概　要

開発した経営管理ツールは、農協の組勘データから資金収支を見える化したグラフを自動的に出力するものであり、様々な基準値の設定により、自己比較と他者比較が可能です。経営全体からの視覚的な把握により、経営改善の具体的な手立ての整理に役立ちます。

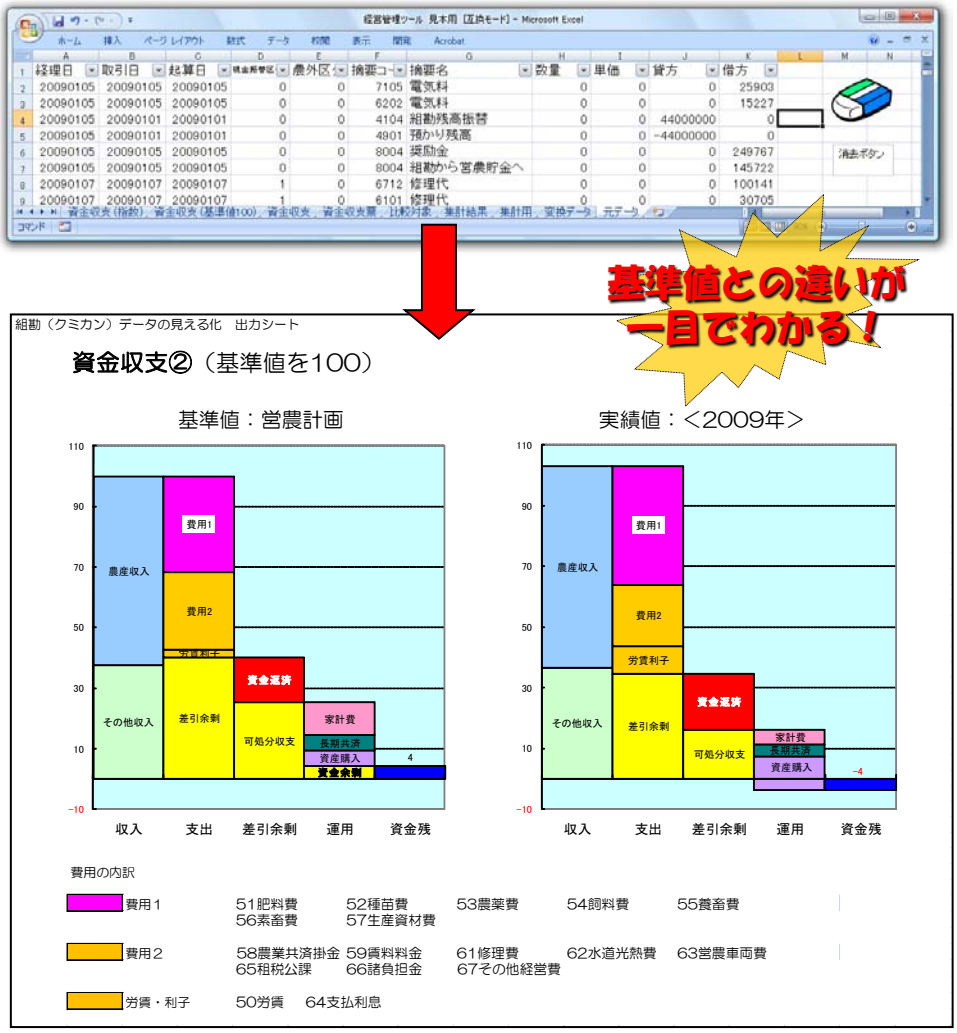
Results 成　果

1　経営管理ツールの入力及び出力

経営管理ツールは、CSV形式の組勘（クミカン）データをMicrosoft Excelのシートに貼り付けるだけで、自動的にデータの集計とグラフの出力が実行されます。

経営管理ツールは、基準値との相違点を鮮明にし、当該経営の問題が把握しやすいように、二つのグラフを並べて出力します。

出力されるグラフは、左から順に収入（農産、畜産、その他）、支出（費用と差引余剰）、差引余剰（資金返済と可処分収支）、運用（家計費、長期共済、農外支出、資産購入、余剰額）、資金残（最終的な資金余裕額）の軸からなり、組勘（クミカン）取引における資金の流れを可視化しています。



図表－１　入力（上段の図）と出力（下段の図）

Results　成　果

2　経営管理ツールの機能と特徴

経営管理ツールは、集計される摘要コードや出力されるグラフの表示項目を利用者が任意に設定できるようにした他、Excel上でのシート操作により、入力・出力の組み合わせを自由に変更できるといった独自のシステム設計を可能にしています。

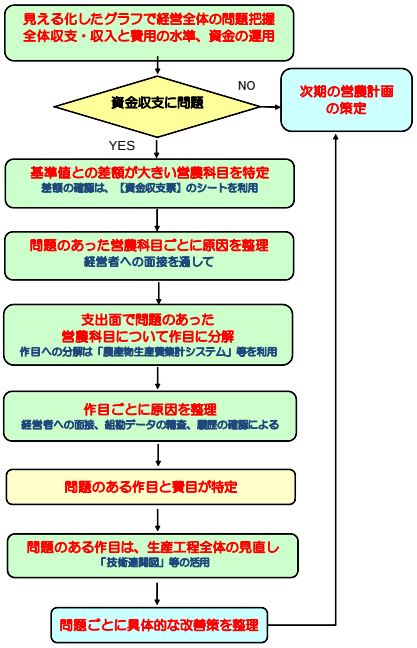
図表－２　経営管理ツールの機能と特徴

		内容	備考
機能	入　力	組勘（クミカン）CSVデータを指定のシートに貼り付ける 基準値は、基準値の名称と営農科目（大分類されたコード）の値を手入力する	組勘(十勝農協連)・クミカン（北農電算）様式は問わない あるべき姿との相違点である「問題」を鮮明にする
	出　力	経営収支を見える化した3つのグラフ 実際の取引額、基準値の収入額を100とした指数、それぞれの収入額を100とした指数	自己比較と他者比較の双方に対応している
特徴	簡便な操作性	操作は、Microsoft　Excelとし、入力作業は、データの貼り付けのみとした。 付随する作業は、マクロによる自動化	マクロはExcel2000～2010まで動作確認済み
	容易に改造が可能	心臓部であるデータの集計とグラフ化には、プログラムを組んでいない。	摘要コードの追加・削除が容易 グラフの表示項目を任意に設定
	独自のシステム設計が可能	入力・出力の組み合わせを利用者が自由に設計可能	当年の実績値と前年の実績値の双方を自動集計 収入や支出を月別にグラフ化 既存のシステムに組み込みが可能 （営農計画書や実績報告書に組み込み）

3　経営管理ツールの活用手順

経営管理ツールを経営の改善に役立てる際には、経営全体から問題を視覚的に把握し、問題が生じている部分について、その原因を整理することで、改善に向けた具体的な手立てを定めることになります。

使用する組勘（クミカン）データは、農協ごとに営農摘要コードが異なるため、事前にコード番号を設定する必要があります。



図表－３　経営の改善に役立てる際の手順

Activities　業　績

【研究成果入手先】
道総研農業研究本部の「農業技術情報広場」で、本成果に関する概要（pdf）を公開。
http://www.agri.hro.or.jp/center/kenkyuseika/iippan23.html

Dissemination　普　及

■開発した経営管理ツールは、農業経営者に改善の必要性について、認識を強く促す「分かりやすい」情報を提供する場面で使用。

■十勝農業試験場のホームページより、見本用ファイル及び活用例のダウンロードが可能。

Contact　問い合わせ

農業研究本部　十勝農業試験場
研究部　生産システムグループ

【電話】　０１５５－６２－２４３１
【メール】tokachi-agri@hro.or.jp
【ウェブ】http: //www.gri.hro.or.jp/tokachi/